

『生活者としての外国人』のための日本語講座進め方事例集

福島県国際交流協会は、平成 28 年度から 3 年間受託した文化庁の『生活者としての外国人』のための日本語教育事業」取組の一つとして外国出身者コミュニティと協働で日本語講座を実施してきました。

この日本語講座は、文化庁の『生活者としての外国人』に対する日本語教育は、対話による相互理解の促進及びコミュニケーションの向上を図り、『生活者としての外国人』が日本語を用いて社会生活へ参加できるようになることを目指すものである」*という考えに基づいて行いました。（*リンク [「生活者としての外国人」のための日本語教育の標準的なカリキュラム案活用のためのガイドブック参照](#)）

この日本語講座では、毎回、外国出身者コミュニティのニーズを聞き取り、彼らが生活する上で必要だと感じる日本語学習のテーマを選んで実施しました。この度、地域日本語教室で日本語講座を実施する際の参考にさせていただきたいと考え、14 テーマで 33 講座を実施した中から、複数回実施した 6 つのテーマの日本語講座進め方事例集を、公開することといたしました。

日本語講座進め方事例集を活用する際の留意点

<日本語講座の目標>

この日本語講座進め方事例集は、様々な日本語レベルの学習者が同時に学べるように作成しています。参加した学習者がすべて同じ学習項目の理解を目指すものではなく、様々な日本語レベルの学習者が、それぞれ今の日本語の力を少し伸ばすことを目指します。

<日本語指導者の役割>

日本語講座を進行する日本語指導者は、学習者の学びを手助けする役割を果たします。

<指導者等の数>

日本語講座進め方事例集に提示している実技講師や日本語補助者の数は、あくまでも当協会が実施して効果的だと考えた数です。

<講座実施の時間>

日本語講座進め方事例集で提示されている時間は、当協会主催の日本語講座で実施した際の時間で、参考として提示しました。

<[振り返りシート](#)>

この日本語講座進め方事例集では、学習者が日本語講座で、どのような日本語を学び、どのようなことができるようになったかを振り返る時間を重視しています。「どのような日本語を学んだか」について学習者が自ら振り返ることで日本語の定着を図ります。当協会主催の日本語講座で使用した[振り返りシート](#)を参考に掲載しました。[振り返りシート](#)は、日本語指導者に提出するものではなく、学習者自らの日本語学習の記録用です。

<実施に当たって>

実際に日本語講座を実施する場合は、時間、日本語補助者等の協力者、活動の内容等それぞれの状況に合わせて適宜修正を加えながら、この日本語講座進め方事例集をご活用ください。

平成 31 年 3 月

(公財) 福島県国際交流協会

日本語講座の進め方事例集

- [料理を習うための日本語](#)
- [母国の料理を紹介するための日本語](#)
- [救急救命と 119 番通報のための日本語](#)
- [防犯の日本語](#)
- [防災の日本語](#)
- [仕事で使う日本語](#)

日本語進行案を実施する時のヒント



＜自己紹介＞知らない人と突然話をしてくださいと言われてもねえ…

知らない人と突然、「話し合ってください。」と言われてもなかなか話ができないものです。初めに自己紹介をすることで、相手を知り自己開示もできるので話がしやすくなります。形式的な自己紹介ではなく、ゲーム性を取り入れたり、紹介する項目を指定したり、話しやすい雰囲気を作ることが大切です。



＜学習の振り返り＞学習の振り返りでは何をしますか？

新たに知った言葉やフレーズを覚えて使えるようにするためには、復習の時間が必要です。どんな言葉に接したか、どんな日本語のフレーズが自分に必要か、これらのことを学習者が意識することで日本語の定着が進みます。そのための振り返りの時間は、日本語学習の上で貴重な時間なので十分時間をとってください。

振り返りの時間では、日本語講座で聞いたり教えてもらったりした日本語を学習者自身が思い出し、書き出し、それを実際に使う練習をします。日本語指導者や日本語補助者は、学習者が学んだ日本語を思い出す手伝いをし、実際に日本語を使う練習相手となります。

____月____日

なまえ：_____

ふりかえりシート

きょう はな
今日はだれと話しましたか？

_____さん、_____さん、_____さん

おぼ 覚えたことば (日本語の単語)	いみ ぼご 意味 (母語)

きょうおぼ にほんご ぶん か にほんご
今日覚えた日本語の文を書きましょう。(日本語で)

--

きょう かんそう ぼご
今日の感想 (母語で)

--